

デーリー東北
2018年(平成30年)10月18日(木曜日)(2)

味の海翁堂 新商品「いちご煮ごはん」

八工大生デザイン案発表

八戸工業大感性デザイン学部創生デザイン学科の学生15人が17日、八戸市の同大で「味の海翁堂」(同市)の横一郎社長に、同社と共同で取り組んでいる新商品「いちご煮ごはん(仮称)」の開発プロジェクトに関するプレゼンテーションを行い、商品名やパッケージの案を説明した。横社長は、学生が考案したパッケージを評価しつつ、一部



横一郎社長(右)に新商品のパッケージについてプレゼンテーションをする学生

17日、八戸市

改良を重ねた上で、本年度中の完成を目指す考えを示した。

この日は3グループが発表。同科3年の寺井隆太郎さん(20)らのグループは、販売ターゲットを30〜40代のサラリーマンに設定し、酒と共に楽しんでもらえるよう「働く男の贅沢なおつまみ」とのキャッチコピーを考案。パッケージには黒色を多用し、高級感を強調した。

横社長は取材に「斬新なアイデアばかりで驚いた」と評価。その上で「観光客向けの視点を取り入れたデザインを考えてもらえればより良くなる。ぜひ商品化につなげていきたい」と述べた。

プロジェクトは、同社新商品のコンセプトやPRポスターの案などを学生が考えて商品化につなげるもので、同市出身のクリエーター・関橋(須田山裕太)が協力している。英作氏の指導の下、今年5月からスタート。デザイン作成には、デーリー東北新聞社の社内分社「東北のデザイン社」が協力している。